

今、ダムカードがあつい！

今、ダム愛好家の中で注目されているのが「ダムカード」です。

子供の頃に集めたトレカに似たようなカードで、ダムの写真や特徴が記載されています。平成19年より国土交通省等が管理するダムでダムカード（公式版）を作成し、来訪者に配布したのがはじまりです。

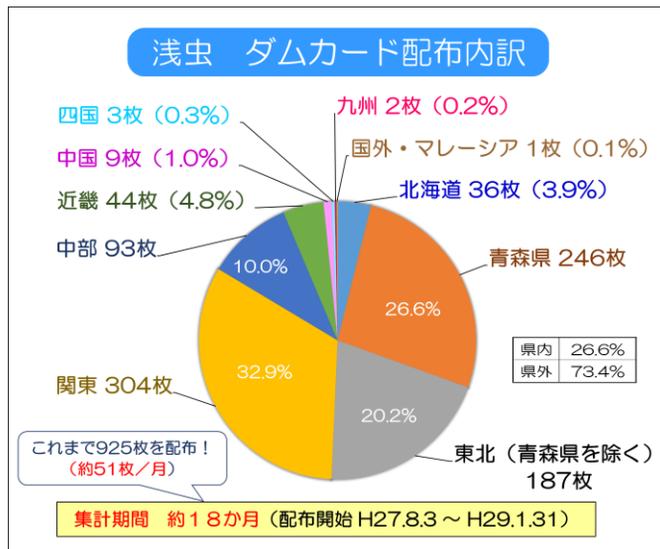
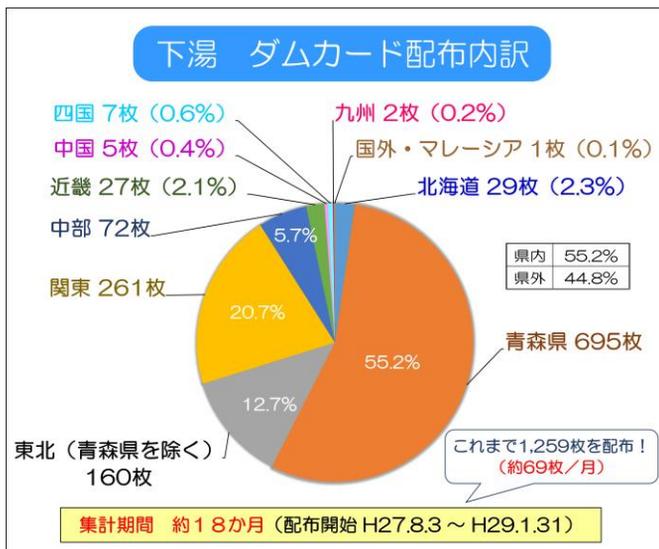
当事務所でも、同時期から手作りのオリジナルダムカード（非公式版）を配布していましたが、現在は公式版のカードに切り替えたため、旧カードの配布は終了しました。



公式版



さて、平成27年8月から配布したダムカード（公式版）ですが、熱心なダム愛好家の増加とともに年々配布枚数が増えています。配布開始からの集計結果は以下のとおりです。



- ・ 約18か月で1,259枚を配布（約69枚/月）
- ・ 小学校の見学が多く、青森県が55%を占める
- ・ 県外の来訪者が約45%と多い

- ・ 約18か月で925枚を配布（約51枚/月）
- ・ 浅虫温泉街とダムが近いため、県外の来訪者（宿泊客など）が多い
- ・ アクセスが良く、首都圏からの来訪者が多い（「道の駅」で配布、鉄道等が利用可能など）

以上より、ダムカード収集を目的とした「コレクター」が多く、間違いなくダムカードが地域活性化の一助となっているようです。また、年間の月別では、7～9月は夏休み・盆休みと重なるためダムを訪れる方が多く、11～3月の冬期間は減少する傾向にありました。

配布時に来訪者に伺ったところ、ダムに行かないとももらえないため、他県のダムカードはマニアの方でも入手が困難で「レアもの」だそうです。青森県のお他ダムでもカードを配布していますので、みなさんも、県内10ダム（国交省2、青森県8）の完全制覇を目指してみたいはいかがでしょうか。

